

「頑張る地方応援プログラム」に応募しました

総務省では、地方独自のプロジェクトを自ら考え、前向きに取り組む地方公共団体に対し、地方交付税等の支援措置を講じる「頑張る地方応援プログラム」を平成19年度からスタートさせました。

本町では、平成19年3月に

安平町総合計画のまちづくりの基本的な方向性「恵まれた立地条件を活かしたまちづくり」及び重点プロジェクト「地域産業振興プロジェクト」を柱とした地域振興プロジェクトを策定し第1次募集に応募しました。

地域振興プロジェクトの概要

豊かな自然に恵まれた本町は新千歳空港・苫小牧港に近く、町内には北海道横断自動車道インターチェンジを有するなど陸海空の交通にも恵まれた地域です。

また、人口230万人以上を有する札幌都市圏まで直線距離で50kmあまりと北海道内で最大の消費地を間近にひかえていることから、食糧供給を中心とした経済的なつながりや人的・文化的な交流を強化することで、この地域の活力向上を図ります。

【プロジェクトの期間】

平成19年度～平成21年度

【取り組み内容】

□ 農林業振興対策

(3ヶ年事業費

28,695千円)

本町の基幹産業である農業の安定的発展を支える体制づくりに取り組み、地域の発展を担えるよう支援します。

また、林業の安定的な発展のみならず、環境保全、水源涵養(かんよう)、山地災害の防止などの観点か

る一方、新たな商業・サービス施設の立地を促進するとともに、商店街の景観改善や空き店舗対策を実施します。

□ 観光振興対策

(3ヶ年事業費

141,532千円)

本町を訪れた人が町内で回遊・滞在するしくみの構築を目指し、観光資源の発掘と既存資源の魅力向上、特産品を活かした新たな名物の創出、滞在型観光拠点の形成など、地の利を活かした観光振興を図ります。

□ 定住促進対策

(3ヶ年事業費

180,748千円)

地域の特性を活かした魅力ある宅地の検討に加え、既存住宅団地の販売を促進し定住者の確保を図るほか、ブロードバンド通信環境の整備や交通の利便性の確保など若い世代も暮らしやすい魅力あふれる地域づくりを進めます。

問合せ

企画課企画調整係

☎ 22 2751

安平町総合計画

基本テーマ

「くらしの笑顔が広がるぬくもりと活力と躍動のまち」

◎テーマ実現のためのまちづくりの基本的な方向性

- ・生活重視のまちづくり
- ・豊かなこころを育む学びのまちづくり

- ・恵まれた立地条件を活かしたまちづくり
- ・住民と行政との協働によるまちづくり



◎安平町が目指すべき将来像を実現化するための重点プロジェクト

- ・安心生活創出プロジェクト
- ・循環社会形成プロジェクト
- ・住民参加のしくみづくりプロジェクト

- ・地域産業振興プロジェクト
- ・未来を担う人材育成プロジェクト



「頑張る地方応援プログラム」へ安平町「地域振興プロジェクト」として応募



国からの支援(地方交付税等による支援)

【関連ホームページ <http://www.soumu.go.jp/ganbaru/index.html>】

【成果指標】

指標名	近況値	目標値(H21)
転入者人口	468人(H17)	500人
民有林面積	5,759ha(H17)	5,759ha
事業所数	363ヶ所(H16)	365ヶ所
製造品出荷額	10,927百万円(H16)	11,000百万円
小売業年間商 品販売額	6,395百万円(H16)	6,400百万円
農業産出額	8,800百万円(H17)	9,000百万円

ら森林所有者に対する計画的な森林施業の奨励により森林保護を進めます。

□ 商工振興対策

(3ヶ年事業費

143,015千円)

地域産業の振興では、軽工業の誘致とあわせ、最先端産業や研究開発型産業の誘致に向けた検討を進めるほか、地域資源を活用した新たな産業の創設を推進します。

商業の振興においては、足腰の強い商業経営の確立を図